

# 東村山市立大岱小学校



## 外観

東京都東村山市恩多町に位置する「東村山市立大岱小学校」は、市制施行前に「大岱(おんた)」と呼ばれていた地名を校名に残す小学校。このたび、南棟の西側トイレを全面改修、北棟と南棟の東側を部分改修した。



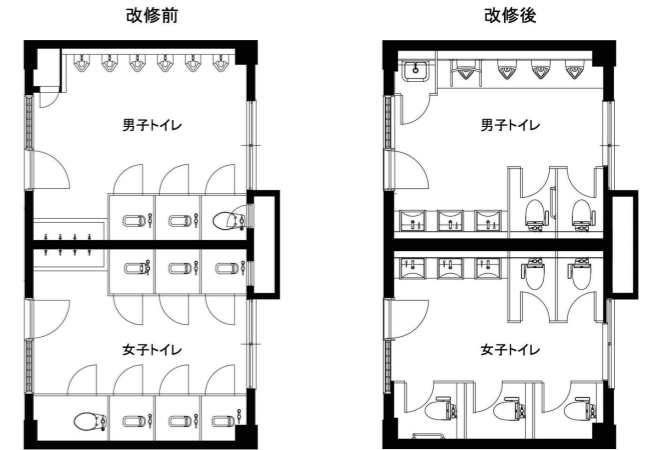
## 南棟西側トイレ 全体

自然光が射し込む明るく清潔感のある空間。清々しい印象のグレイッシュな木目をアクセントとした上品な内装デザインにより、居心地のよい空間を演出している。



## 南棟西側トイレ 洗面コーナー

洗面器は、手洗い位置がカウンター面より低く周囲への水はねを低減できる器具を設置。また、非接触で水の出し止めができる自動水栓は、電気工事が不要で停電時にも作動する電源不要の自己発電タイプを採用している。



## 南棟西側トイレ図面



## 南棟西側トイレ 小便器コーナー

小便器は、床の清掃性や節水性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を設置している。



## 南棟西側トイレ 大便器コーナー

大便器ブースの間仕切壁を天井近くまで立ち上げて防犯性とともにも個室感を高めている。また、清掃を乾式清掃へと変更し、すべての大便器ブースに洋式便器とウォシュレットを設置している。



## 南棟西側トイレ 大便器ブース

男女ともに、擬音装置「音姫」付きのウォシュレットPを設置。大便器ブースの1ヶ所には手すりを備え付けている。

## 水まわりの特長

### 改修の経緯

東村山市では、教育環境の整備、教育内容の充実を図るべく、小中学校トイレ洋式化事業を実施している。避難所としても機能するため、小中学校の既存トイレ設備について、「洋式便器に変更」と「乾式清掃化」への改修を実施。この計画に基づいて改修された「東村山市立大岱小学校」は、東京都東村山市恩多町に位置し、市制施行前には「大岱(おんた)」と呼ばれていた地名を校名に残して伝える小学校で「新しい時代を拓く、心豊かでたくましく生きる子どもの育成」を学校教育目標に掲げている。今回は南棟の西側トイレを全面改修。直近で改修歴がある北棟トイレと南棟の東側トイレは部分改修を行った。

### トイレの特長

小中学校トイレ洋式化事業における基本方針より、トイレは「洋式便器に変更」と「乾式清掃化」を実施。自宅で当たり前になってきている温水洗浄便座を学校でも使用できるように、便座にはプライバシーと節水への配慮から、擬音装置「音姫」付きのウォシュレットPを設置。加えて、衛生面にも配慮し、洗面コーナーには自動水栓、小便器は床の清掃がしやすい壁掛型の自動洗浄小便器を採用している。改修以前から備わっていた北棟の車いす対応トイレは、器具を更新。1Fはオストメイト対応の汚物流しや、乳幼児連れ配慮としてベビーチェアなどを完備。教育環境および避難所機能の充実を図り、環境や衛生面において安心して気持ちよく利用できる、明るく楽しいトイレが完成した。



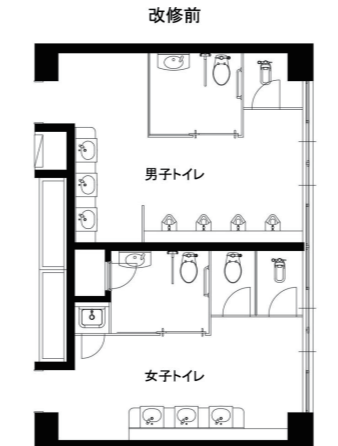
## 北棟1Fトイレ 車いす対応ブース

校舎竣工後にトイレ改修をしている北棟では、残っていた和式便器を洋式便器に変更。また、当初より備わっている車いす対応ブースの器具を更新し、機能がわかりやすいようトイレ入口とブースのサインも見直された。

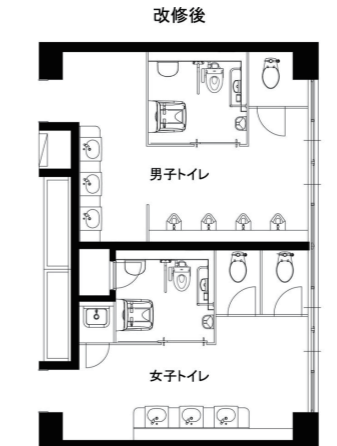


## 北棟1Fトイレ 車いす対応ブース

全階共通して、車いす利用者への対応をはじめ、乳幼児連れへの対応としてベビーシートとベビーチェアを設置。1Fの車いす対応ブースには、オストメイト対応の汚物流しを設置している。



## 北棟1Fトイレ図面



改修以前から備わっていた北棟の車いす対応トイレは器具を更新。1Fには、オストメイト対応の汚物流しや乳幼児連れ配慮としてのベビーチェアなどを完備している。

## 建築概要

名称	東村山市立大岱小学校
所在地	東京都東村山市恩多町4-17-1
施主	東村山市
設計	株式会社政所設計
竣工年月	(改修)2023年1月
敷地面積	16,316㎡
建築面積	3,848㎡
延床面積	7,475㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上3階

## おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュバルブ式:CFS494MNHNS、CFS469HNS  
 ウォシュレットP:TCF587 / 普通便座:TC291  
 棚付二連紙巻器:YH650 / 自動洗浄小便器:UFS900JCS  
 洗面器:L350CM / 壁掛手洗器:LSE570APFR  
 台付自動水栓:TENA40AW / 水石けん入れ:TLK0520J  
 パブリック用流し:UAS23B / ベビーシート:YKA24S / ベビーチェア:YKA15S